

船舶事故等調査報告書

平成23年6月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010函第66号	
事故等種類	沈没	
発生日時	平成22年11月9日 02時00分ごろ～02時30分ごろ	
発生場所	北海道稚内市稚内港 末広ふ頭東岸壁北端消波堤付近 (概位 北緯45°24.4′ 東経141°41.5′)	
事故等調査の経過	平成22年11月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 ^ダ ^マ ^ン ^タ DAMANTA（カンボジア王国）、39トン 1088707（IMO番号）、KRISTALL CO., LTD（船舶所有者兼運航者）	
乗組員等に関する情報	船長（ロシア連邦籍）、男性 52歳、外国免状 機関長（ロシア連邦籍）、男性 48歳、外国免状	
死傷者等	なし	
損傷	本船 全損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか6人が乗り組み、稚内市宗谷岬北西方沖を航行中、機関長が、船体に異常な右傾斜を感じて船内を点検したところ、船首倉及び機関室への浸水はないものの、右舷側の甲板上に約30cmの高さまで海水が滞留し、船体が約15～17°右に傾斜していることを確認した。</p> <p>本船は、最寄りの稚内港に避難することとし、波が甲板上に打ち込む状態で航行した。</p> <p>本船は、稚内港末広ふ頭北側の消波堤（テトラポッド）に左舷船首部を接舷して岸壁のビットに係留索をとったのち、乗組員全員が消波堤を伝って上陸した。</p> <p>本船は、平成22年11月9日02時30分ごろ末広ふ頭東岸壁北端消波堤付近において沈没したが、乗組員全員は、末広ふ頭東岸壁に着岸中の貨物船に避難した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 東、風力 5、視界 良好</p> <p>海象：波高 約2～2.5m</p> <p>道北稚内市に強風波浪注意報発表中</p>	
その他の事項	本船は、岸壁のビットに係留索をとったとき、船体が約40～45°右に傾斜していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、宗谷岬北西方沖を航行中、船内に浸水して船体が右傾斜したため、末広ふ頭に着岸したものの、浮力を喪失して沈没したものと考えられるが、船長から情報が得られなかったため、その状況を明らかにすることはできなかった。</p>

原因	本事故は、夜間、本船が、宗谷岬北西方沖を航行中、船内に浸水して船体が右傾斜したため、末広ふ頭に着岸したものの、浮力を喪失して沈没したことにより発生したものと考えられる。
----	--